



高橋 幸信 議員

市民交流エリアの取り組みについて

市長は後援会活動の対話集会や自治会長会議の席、また、自身のホームページ等でこの事業を推進していく旨の発言をしていくが確認の意味も含め市長の見解を伺いたい。

市にとって必要なものとして事業は推進していく考えであるが、過去にとらわれることなく、その時代時代に合った、また将来



石川 恒夫 議員

水原郷病院の現状認識について

基本協定内容の認識・見解を伺う。

市民が求める医療機能、特に救急医療の回復についての取り組みが不十分と感じている。

見直し条項への対応及びスケジュールについての考え方を伺う。

議会の意見や提言も参考にし、厚生連側との協定見直しに向け、継続的な事務レベル協議と、

にわたり阿賀野市にとって欠かすことのできない事業となるよう、現段階では、私自身の中で「はっきりとした内容」が見えていないので、具体的な内容を含め熟慮した中で、計画を立案し進めていきたい。

市職員のモチベーションについて

最近市民から職員に仕事に対しての熱意、意欲が希薄になっているのではないかとという声がかかる。このことについては市長も耳にされていることと思う。そこで次について伺う。

職員のモチベーションを上げるためにどのようなことを考えておられるのか。その為の具体的な方策は。

市民の利便性の視点に立った組織の再編と職員の意識改革を進めるため、職員の能力、適性の

必要に応じトップ協議も並行し、8月に予定している郷病院運営協議会で今後のスケジュールを提案したい。

平成21年秋、特別委員会、視察研修した北秋田市立病院問題での教訓が全く生かされなかった。見直しに向けての基本的な考え方を伺う。

設置者である阿賀野市と、運営者である厚生連は、ウィン・ウィンの関係（互恵関係）が好ましいと考える。

まず、指定管理者制度の本旨体現が第一義と考えるが、指定管理者との基本的スタンスを伺う。

指定管理をお願いしたのは、17病院を運営する経営手法や、ネットワークにより、医師やスタッフの確保が図られ、安定した経営と市民が求める医療の継続提供体制ができると考えたからであり、厚生連には、郷病院の体制強化に向けての明確な方針を示す

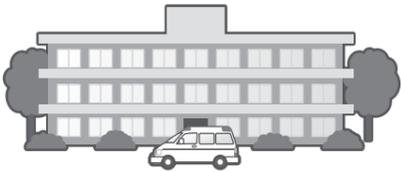
把握に努め、適材適所の人事配置により職員の仕事に対する熱意・意欲を高め、職員の持っている能力を十分に発揮できる環境を作り、市民にご理解いただき協力をいただける、活力ある阿賀野市を作っていくよう努力していく。



様話し合いを進めていきたい。

指定管理者制度の採用と長期継続契約は、民間活力の最大限発揮と、事業の安定的継続性を担保したものである。事業計画の確実な実現にも責任を負うべきものであり、一方で設置者である市は、市としてやるべき事、協力すべき事を明確にし、ウィン・ウィンの関係構築すべきと思うが伺う。

その通りと思う。



◆その他の質問◆
地域経済活性化策の質疑



山賀 清一 議員

下水道について

生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る上で、基盤的施設として実施。事業が遅くなるにつれて弊害が地域間の格差が起きている。公共工事の減少で業者も雇用の確保も困難をきわめ、下水道工事が唯一の仕事。経年数も長くもつとスピードを上げ、早期完了に最大限努めるべきである。一方供用開始以降の受益者負担金の不公平感。苦情不満があり、

更には水道料金等の差の矛盾、今は大幅に見直す時である。

地域間格差が生じているのはご指摘の通り、承知している。供用区域を順次拡大していく。ご理解を願いたい。公共工事における、下水道工事の期待は必要不可欠事業と考え、地域経済の波及効果も大で、鋭意事業を進めていく。近年国の交付金となる財源も減額され、厳しい財政状況の中で事業投下となり、費用対効果を検証し、順次発注に努めていく。

環境保全について

中山間地の過疎化の防止策に最も重要なのは、林業の生業化にある。広域基幹林道五頭山麓南線の事業計画が中途半端な状態。早期完了させる努力が不足している。安全面を考慮し、林業整備事業の推進を急ぐべき。完了予定はいつなのか。更に取り付け作業道の

の整備併用も必要。一方交付補助金の減額所有者負担増は問題である。

工事の進捗状況は17年間で58%であり、完了予定は平成31年度、県に法線変更も含め、検討していく。森林経営計画の作成、作業道補修作業の支援もしており、森林資源は水源涵養や地球温暖化防止機能を有する、重要な環境財産であることから、関係森林組合の活動を支援していきたいと考えている。



◆その他の質問◆喫煙について

平成24年5月21日に所管事務調査を行いました。

「サテライト阿賀野」の現地調査について

場外車券売場「サテライト阿賀野」は、場外舟券売場「ミニポートピア阿賀野」と併設し、競輪とオートレースがワンフロア一体型で楽しめる施設として昨秋オープンしました。

環境整備協力費として売上額の0.7%を市に支払いますので、公営競技の目的である地方財政の健全化に寄与できるよう、入場者数を増やす計画を立てているとお話でした。

近接する赤坂小学校児童の下课時間、通学路の交差点2カ所に警備員を各1名配置、駐車場の警備員は帰路を国道290号方面へ車両誘導し交通安全対策を図り、治安対策では警察OB2名を警備員として配置しています。

現在、サテライト阿賀野にトラブルの発生、

苦情は寄せられず、阿賀野警察署各課でも事件、事故等問題発生案件はなく、青少年育成センターの定期巡回指導でも事故等の報告はありません。今後も懸念される問題点には十分注意し、また、閉館後に場内から一斉に帰る車で通学路の交通量が多くなる時間は下课時間と重なり、特に夕暮れが早い冬期間は危険が増すので、交通事故発生防止に一層の配慮が必要と思われる。



サテライト阿賀野、ミニポートピア阿賀野

常任委員会の活動 総務文教常任委員会

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1) 視察研修について
(2) 市内小・中学校の整備状況について